

# 世界遺産・五島列島の島めぐり

池田 良穂 (大阪経済法科大学)  
(客員教授)

新 クルーズ学

36

九州・長崎県の五島列島の島々は隠れキリシタンの島として有名で、教

会を中心とするいくつかの集落が「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として世界文化遺産に認定されています。

五島という島はなく、中通島、若松島、奈留島、久賀島、福江島の5つの大きな島と、その周辺の島々からなり、南北80キロメートルあまりに連なる列島です。

この五島列島を旅するのには、長崎または佐世

保からフェリーに乗るのが一般的ですが、北から南まで列島を縦断して運航されている野母商船の「太古」というカーフェリーの旅もおすすめです。

同船は、毎日深夜に福岡の博多港を出港して、五島列島の北端の宇久島から、小値賀島(おちかじま)、中通島の青方、奈留島に寄港して、朝8時には福江島に到着します。ここで2時間ほど停泊した後、折り返し中通島の青方、小値賀島、宇久港に寄港しながら夕刻には博多港に戻ります。

この船は、離島の生活航路船ですが、船内は生活航路船とは思えないほどにお洒落でかつ充実していて、快適な船旅を楽しむことができます。特に船首右舷にある展望ラウンジは筆者の最もお気に入りの場所です。

博多から乗船して、往復する1泊1日の船旅でも十分に楽しめますが、時間に余裕があれば、途中の港で下船して離島自体を楽しむアイランドホッピングがお勧めです。

島々に点在する教会や素晴らしい自然に直接接することができるのです。宿泊や食事をすることで島の生活もかいま見ることができます。一部の島以外にはリゾートホテルのような立派な宿泊施設はなく、小規模に旅館や民

宿ですが、それもまたいいものです。さて、「太古」の船旅のハイライトは、若松瀬

戸の通過です。この瀬戸は小一時間で、博多から

は、上五島の中通島と若松島の間にある狭い海峡ですが、リアス式の複雑な海岸線によって形作られる入り江がさまざまに色を織りなしてとて魅力的です。通過時間

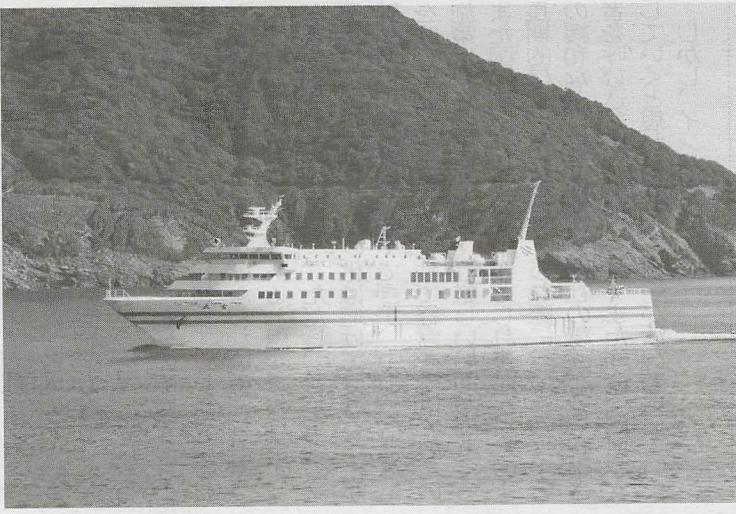
アイランドホッピングの場合には、翌日以降に再び「太古」を利用して次の島に渡ることができませんが、長崎や佐世保の航路船や、列島内の渡船、そして海上タクシーを利用して島々を渡り歩くことが可能です。

かつて1970年代に「離島ブーム」があり、全国の離島に若者が殺到しました。そのころを体験した団塊の世代の人々は、そろそろ現役を引退して余裕のある余生を送られていることでしょうか。

この機会に離島の旅をもう一度楽しませてはいかがでしょう。

五島列島を縦断する航路に就航する「太古」

の



この機会に離島の旅をもう一度楽しませてはいかがでしょう。